

【質疑応答】

≪臨時休業中の学習に係るアンケート調査について（速報）≫

N H K ICTのアンケートの件で、アンケートの中でも自由記述で、「教員から」双方向ではないので、生徒がどれくらい理解しているのか分からない、という声もあったんですけども、双方向でやるにはまだまだ壁は高いのでしょうか。

教育長 双方向が必ずしも良いと、100%良いというわけではなくて、時と場合によって使い分けが必要かなと思っております。実は香港などでも、全部双方向でやった結果、生徒が非常に疲れてしまったという結果もあったり、アメリカなどでも、これは大学生になりますけれども、双方向でやって、双方向は疲れたので動画配信に切り替わったりしています。教科とか、あるいは時と場合によって、双方向のものをやったり、あるいは動画配信をやったり、あるいは課題を出してやるとか、臨機応変の対応が必要かなと思っております。それには、まずは機器、デバイスと、Wi-Fiを整えることが必要になってくるかと思えます。これが整えば、いつ何時でもデバイスとWi-Fiを使って、その教科、その時々、その子供に合わせた形で、個別最適な学習ができると思っておりますので、目指すところはそこだと感じています。

N H K ほとんどの子は、たぶんスマホでやっていたと思うんですけども、今35校は一人1台〔PCの導入を〕、1年生、学校によっては2年生でも入れたところもありますけれども、やっていますけど、今後その辺りの広がりはどうのように考えられていますか。

教育長 やはりスマホは高校生レベルの学習において、アカデミックレベルで向かないと思っております。やはりPCが必要だと思います。現在35校の学校につきましては、1年生ないしは学校によっては1、2年生で導入をして、非常に効果を得ているわけですが、今後35校以外の高等学校につきましても、来年度、令和3年度の導入を目指して準備を進めていきたいと思っております。その際、各校の準備状況を、今確認しているところでございますけれども、導入に向けて必要な準備事項を具体的に示しながら、学校で不安を感じていることを聞き取ったり、あるいは研修をしたりして、個々の状況に応じた支援を進めて、できる限り多くの学校で導入をして、できる限り多くの生徒さんに持っただけのように、と思っております。

N H K 全ての県立高校かどうかというのは、まだ分からないですか。

教育長 目指すところは全ての県立高校ですが、いろいろな事情がありますので。その辺りは今、話を進めているところですが、目指すところは全ての県立高校です。

N H K この件に関してもう1点なんですけれども、それ（導入）は1年生に限りなのか。2、3年生まで入れると月々の支払いが高くなってしまおうということもあると思うんですけども、その辺りはどのようにお考えでしょうか。

教育長 昨年度、35校〔にPC〕を入れるとしたときに、1年生から学年進行で〔導入することとしています〕。3年間有効に使ってもらうという形でやっておりますので。〔来年度は〕今のところ新1年生、今の中3のお子さんたちを入れていって、今年入れたところは1、2年生、その次（令和4年度）に1、2、3年生という形で、学年進行で考えていきたいと思えます。

中国新聞 アンケートについて、5ページの満足度を見ると、6割の子が満足している、4割の子に関しては満足していなかったり分からなかったりということになるんですが、この結果に関しては、教育長としてどのように見て、どのように今後の課題を、この数字から受け

止められていますでしょうか。

教育長 まだ分析を細やかにできていないんですけれども、「満足していない」あるいは「どちらかという満足していない」という生徒が、足して18%、5人に1人いるわけですが、その後の(7)の学習支援の課題を見ておきますと、やはりネット環境が整わない生徒がいたり、あるいは先生によって差が出たりということも見受けられたことが挙げられるかなと思っております。今回は緊急事態で、昨年クラウド上のサービスの研修はしていたものの〔課題が残ったと受け止めています〕。先生方もやらなければ、という気持ちでやっていただいておりますので、今後はどういう形のものが、この教科、あるいは発達段階、あるいはその学校に合っているのかということ、先生方に研究していただきながら、この満足度は上げていきたいと考えています。

読売新聞 アンケートの2ページを見させていただいたら、やはり教科によって、ばらつきがあると思うんですけれども、やはり実技を伴うものは難しかったのかと推察するんですが、この教科によるばらつきについては、どう解決していかれるお考えでしょうか。

教育長 はい、ありがとうございます。この「教科」は回答数が多かった教科ということで、学校の中には商業とか農業とか看護とかがない学校も多いので、数だけでやってしまっていますので、なかなか、だからこうだということは言えませんけれども、しかしながら実技を伴った、例えば看護とか農業とかについては、やはりなかなか難しいなと感じております。これにつきましては、今、学校が6月1日から再開して、県立高校に関しましては、学習そのものの遅れはICTを進めたことによって、総じて少なかったかなと思いますけれども、体験ができなかったというところを、これから、6月1日の学校再開の後、埋めていかなければならないかなと思っております。やはり実学というところで、体験的なところも大事だと思っておりますので。これについては学校再開後、力を入れてやっていきたいなと思っております。

読売新聞 あと、ない方がいいんですけれども、今、学校が再開しましたけれども、第2波・第3波が来ると再び休校ということも想定してお考えだと思うんですが、その場合はこういう実技を伴う学科というのはどうなりますか。

教育長 そうですね、なるべくそういう意味では、今のような感染状況で、学校を閉じなくても良いということを望んでいますけれども、こればかりは今後どうなるか分かりませんし、生徒の安心・安全が第一ですので。何らかこれは考えていかなければいけないと思いつつ、やはりネット上では体験そのものというのはできませんし、疑似的にしかできませんので、策を練っていききたいなと思っております。例えば、農業でしたら、ドローンを飛ばして畑の様子を見るということ、庄原実業〔高等学校〕で行っていますので、そのものをハンズオンで触るといってなくても、代替のものを考えていききたいなと感じております。

読売新聞 あと、端末については、非課税家庭など以外は保護者負担ということでしたが、通信費はどうなっているのでしょうか。

教育長 通信費も、BYODの生徒さんに関しては、LTEで、家庭で使う分は御負担をいただいている形になりますが、今後GIGAスクール〔構想〕で、学校のWi-Fiが、国から予算が入って〔整備されて〕くるとい形になりますので、そういう意味では家庭で使う分はもちろん御自分の〔負担〕という形になりますけれども、学校ではWi-Fiということによっていくことになると思います。

読売新聞 あと一つ、こういうことが〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕で一気に進んだわけですが、〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の流行〕が終息した後でも、例えば不登校の子供さんですとか、そういう子供さんの学習にも活用できるんじゃないかと思うんですが、教育長の考えをお聞かせください。

教 育 長 今回びっくりしたことは、少し学校に足が向かないというお子さんも、ICT を使った学習に参加してこられました。それから、学校では意見を言わないお子さんも多いんですけども、皆さん、チャットに書いてと言うと、かなりたくさん意見を書かれたということも聞いております。何か一つが魔法の杖という形ではなくて、実際の学校、それからこういう ICT を使ったもの、いろいろな居場所であったり、いろいろな方策であったり、これが私が考える教育のチョイスという形になりますけれども、それをたくさん用意することによって、自分に一番適した形あるいは最適なものを生徒に提供できるかと思っています。今回、新型コロナウイルス〔感染症〕の関係で〔学校が〕休業になってしまいましたけれども、そういった意味では広島県においては、非常にこの ICT の、先生方の使おうとするお気持ちとか、あるいは実際の工夫があって、すごく良かったかなと思っています。

《広島県教育委員会公式 Facebook の開設について》

読売新聞 Facebook の開設なんですけれども、これも〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕による ICT 化と関連すると考えてよろしいんでしょうか。

教 育 長 〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕だけではなくて、これもハズオンでいろいろな形で県民の皆様へ情報提供させていただきたいと考えておりましたので、そろそろ Facebook などという形で情報提供を〔していきたい〕、と思っておりましたので。ただ、今後、緊急事態が起こったときも、県教委のフォローをしていただければ、いろいろな情報が入ってくるかと思しますので、ぜひともフォローをしていただければうれしいなと思っております。

《臨時休業中の学習に係るアンケート調査について（速報）》

N H K 先ほど、来年度全県立高校に PC を導入できたら、とおっしゃったと思うんですけども、これは〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症拡大防止対策〕に関係なく、普通の授業で使うことも重要ということも、もちろんあると思うんですけども、今回〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕で休校になったことで、より重要性が認識されて、〔導入が〕進むという理解でよろしいですか。

教 育 長 今回〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕の休業にかかわらず、やはり日本のデジタルの〔導入の〕進捗状況というのは遅いと言わざるを得ないということは、みなさんも OECD〔が実施した国際学習到達度調査（PISA）〕の結果などで御存知のとおりかと思えます。やはり子供たちがこの時代、様々な形で生き抜いていくためには、デジタルの活用能力というのは絶対必要になってくるわけございまして、これは〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響か〕、〔新型〕コロナ〔ウイルス感染症の影響〕じゃないにかかわらず進めようという気持ちで、今年度から 35 校、それから来年度から全校というところを目指しております。ただ、新型コロナウイルス〔感染症の影響〕の休業がありましたので、そういった意味では、先生方も使おうと、それから生徒たちも障壁が非常に低くなったと思っていますので、これを機に、更なる情報活用能力、いわゆる PISA でいうような、何かデータとデータを比較して自分の意見が言えるようになる、あるいはクリティカルな考え方ができるようになるということ、ICT の活用とともにできればと思っております。

《学校再開 2 週間経過の受止めと部活動について》

朝日新聞 県立学校が再開されて 2 週間経ったわけですけども、現状の受止めを伺いたいのと、部活に関しては、この間も 6 月中は、土日は基本的にはやらないという形で、時間もある程度限定した形でやっていたと思うんですが、現状を踏まえて 6 月以降の部活動については、どのようにお考えでしょうか。

教 育 長 はい、ありがとうございます。まず、学校が再開いたしまして 2 週間が経過いたしました。私も、今日も学校 1 校行ってきましたし、ほぼ毎日いろいろな学校を見に行っており

ます。生徒の様子、それから先生方の様子、それから感染防止の状況、様々なチェックをさせていただいているんですけども、休業中、各学校においては、先ほど申し上げたように課題の配付ですとか、あるいはICT機器等を活用した指導を通して、学習の機会の確保という点では、広島県の県立高校においては、学習の遅れが生じないように、必要な措置はできたかなと感じております。その中で、再開以降きちっと生徒たちに学習内容が定着しているのか〔を確認し〕、それから各種の計画等を見直しまして、対面による授業、それからICTを活用した〔授業〕、ハイブリッドな組合せを模索したりとか、あるいは先ほど申し上げましたように、学習自体はそういう意味では順調に進んでいたとしても、体験がやはり遅れているので、その辺りの体験の充実とかを考えております。部活動につきましては、ずっと休業だったわけですから、様子を見ながら、ということで、今のところ少しゆっくり目にということで。（事務方に）あれいつからでしたっけ？

豊かな心と体育成長課
教育長

明日からです。

明日からほぼ通常どおりに戻すということで考えております。熱中症とかもありますし、十分注意しながら、ということと、そうはいつでも感染防止をしながら、という形にはなりませんけれども。今回、一部の競技だけですけれども、高体連、それから高野連の苦渋の決断だったとは思いますが、代替大会をするということも決まっていますし、競技によってそうではないものも含めて、やはり日常生活になるべく戻していくということが、子供たちを元気にすることかなと思いますので、十分に感染防止に配慮しながらも、やはりそこは戻していくことが良いかなと感じております。

朝日新聞

少し詳しく教えてください。ほぼ通常どおりに戻すということなんですけれども、それは通常というか、少し限定している要因というのはどういった理由でしょうか。

豊かな心と体育成長課

通常に戻すというのは、明日から週当たり二日以上の休養日を設けるという、ガイドラインに近い形にして、時間のところも、ガイドラインでは平日は2時間程度、それから休業日は3時間程度としておりますが、〔それぞれ〕2時間以内、3時間以内という形で、段階的に通常に戻すというふうに考えております。

教育長

そのガイドラインというのは、休業になる以前のガイドライン（運動部活動の方針及び文化部活動の方針）です。

朝日新聞

2時間以内、3時間以内という形で段階的に戻すというのは、例えば1週間後に2時間以内を3時間以内にするとか、そのような形で広げていくというイメージなんですか。

豊かな心と体育成長課

失礼しました。活動時間については、明日から土日は3時間以内とする、来週からの平日については2時間以内とするとなっております。

朝日新聞

土日も〔部活動を〕やっていいということになるということですか。

豊かな心と体育成長課

そうです。

朝日新聞

平日は2時間以内であればこれまでどおり変わらないということよろしいでしょうか。確か、平日は2時間以内だったと思うのですが。

豊かな心と体育成長課

2時間程度としていたのですが、疲れもありますし、事故の防止もありますので、2時間以内という書きぶりになっている状況です。

《大学入試の日程について》

N H K

まだ正式に決まっていないので答えづらいかもしれませんが、大学入試の共通テストを、予定どおり来年1月16、17日で行う方向で調整、という情報があったんですけれども、これについて、どのようにお受け止めですか。

教育長

大学入試につきましては、生徒の一生を左右する大切なものであると受け止めておりまして、特に最終学年である高校3年生の生徒の進路希望の実現に向けた取組

というのは大変重要であると思っております。今回、国の方でそういう指針を出されるわけですが、いずれにしましても、受験する生徒たちが不安を抱えることがないように、学校としましては進路の個別計画を学校再開後すぐに出していただきという通達もさせていただいております。大学入試の生徒も、それから就職する生徒も、あるいは大学入試だけではなくて、進学する生徒と就職する生徒、就職も今年、去年に比べると難しくなってくることも考えられますので、そういう意味ではそれぞれの生徒が自己実現ができるような形で、それぞれの進路の個別計画を立てて、十分に支援をするように各学校に対して、県教育委員会としてもお願いしているところです。一つは補習体制を組むとか、そういったところで生徒たちが少しでも安心した形で、不安を抱えることがないように、と感じています。

《高校入試の出題範囲等について》

読売新聞 高校入試についても当然影響が出てくると思うんですけれども、〔東京〕都教委や奈良県教委のように、例えば出題範囲を定める等の対策を打ち出している教委も、少しずつ出てきておりますが、広島県教委としては何らかの配慮をするお考えはありますか。

教育長 令和3年度広島県立高等学校等入学者選抜の基本方針につきましては、今のところ令和2年度の基本方針と大幅な変更は考えておりません。一方で文部科学省の方から、地域における中学校等の臨時休業等の状況を踏まえた出題範囲や内容、それから出題方法の配慮が求められているということから、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入学者選抜の内容等の見直しについて、検討しなければならないと思っておりますけれども、現在のところ各中学校におきまして夏休みを短くするとか、あるいは行事の精選等でキャッチアップできると伺っておりますので、今のところ大幅な変更は考えておりません。

読売新聞 5月15日の定例教育委員会会議で示された方針があると思うんですけれども、そこから今の時点では大きく変えることはないということでしょうか。

教育長 はい、そうです。そのように考えております。

《感染症対策と熱中症対策について》

N H K 今、暑くなってきて熱中症のおそれもある中で、県教委も十分に距離を取ればマスクを、登下校時も含めて、外してもいいという通知を出したと思うんですけれども、インターネット上ではマスク警察で、子供が怒鳴られて泣きながら学校に行ったとかあると思うんですけれども、県内の状況はどうかということと、一般の人に対しても、子供がマスクを付けないことに関して、理解を求めることが必要かもしれないと思うんですけれども、その辺りのお考えをお願いします。

教育長 はい、ありがとうございます。暑くなってきましたので、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するということが、熱中症の事故の防止ということも考えなければいけないと思います。特に、学齢の低い、例えば小学校低学年、あるいは幼稚園・保育園に通うお子さんに関しましては、暑さがなかなか自覚できないということがありますので、お子さんに関しましては、十分に距離を取るのであれば、マスクは外して登校させないと、逆に危ないということもあります。学校の体育の授業等においても、十分に距離を測りながら、マスクを取ってやっておりますし、ここについては県民の皆さんにも、もちろんマスクをすることがベターな方法かもしれませんが、むしろお子さんの本当の健康の意味を考えるとということで、マスクの着脱を大目に見てあげてほしいなと感じております。中国で、N-95〔のマスク着用〕で体育をして亡くなったという事例も聞いておりますので、ここはやはりお子さんの実態に合わせて、マスクの着用について、登下校時も含めて、十分な距離を保った上ですけれども、マスクを外すことをお許しいただければと思っております。